

林地未利用材等の安定供給に向けた取組

日高振興局森林室普及課 大槻 亨

取組の背景・課題

日高管内

木質バイオマス大規模発電施設への原料供給を開始

■一般民有林の間伐

- ・所有森林が小規模・分散型
- ・人工林が点在し施業が単発的
- ・搬出コストがかさむ

伐り捨て間伐が主体の状況

■ひだか南森林組合（様似町）

- 木質バイオマス発電用チップ生産施設を整備（H26.10～）
- ・原料は管内の間伐等で発生する林地未利用材等
- ・様似町を中心に半径約50km圏内（えりも町～新ひだか町）から、年間13,000m³（原木換算）の原料を集荷目標

課題

林地未利用材等の安定供給に向けた搬出間伐の促進

地域が一体となった取組

取組の内容・成果

◎原料集荷のための体制づくり

「日高地域木質バイオマス資源利用推進協議会」設立（平成27年8月29日）

【構成員】4町、3森林組合、3事業体等
（オブザーバー：森林管理署、振興局林務課、森林室）

【目的】地域の森林から生産される林地未利用材等の有効利用を検討し、木質バイオマス資源としての積極的な利用を推進



◎集荷システムの検討

「林地未利用材集荷システム実証事業（道委託）」
〔間伐・主伐実施箇所で搬出方法検討〕

「小型林業機械を利用した林地未利用材搬出の実証」
①ウインチ付小型グラップルで伐倒木を木寄せ
②小型フォワーダで枝条等未利用材を搬出
（功程調査、事業コストや集荷量等の検証）

取組

推進

■日高振興局森林室普及課

普及指導重点課題の取組

森林施業プランナーと連携

- ・集約化施業団地の設定
- ・林分調査・施業提案
- ・森林経営計画参入の推進

「森林施業技術検討会」開催
内容：高性能林業機械を活用した搬出間伐システムの検討等



■木質バイオマス推進協議会

「林地未利用材集荷システム実証事業 現地見学会」開催

開催日：平成27年10月15日
場所：様似町一般民有林

林業事業体
森林所有者等
77名参加



成果

- ◎協議会設立により、林地未利用材等の利用促進に向けた地域関係者の連携体制が強化された。
- ◎実証事業により、間伐材等の搬出と一体的な林地未利用材の搬出が効率的であること等が実証された。
- ◎集約化による施業推進や現地検討会等を実施したことで効率的な林地未利用材等の搬出・集荷への理解が深まった。

今後の課題・展開

- 木材の安定供給に向けた搬出間伐の普及・定着
- 林地未利用材等の効率的な搬出を進める林業事業体の育成・確保

展開

- 路網整備や列状間伐等による効率的な森林整備の推進
- 林地未利用材等搬出技術や作業システムの検討、提案